

部局名	子ども部	所属名	子育て支援課	所属長名	相馬 文子	電 話	483-1151 内線2270
-----	------	-----	--------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード		3160		事務事業名称		すてっぷ2 1 事業					短縮コード		経常	3160	臨時		
予算区分		会計	01	一般会計		款	03	民生費		項	02	児童福祉費		目	01	児童福祉総務費	
区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市子ども支援センターすてっぷ21の設置及び管理に関する条例 八千代市地域子育て支援センター事業実施要領 八千代市放課後子ども教室推進事実施要領									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																	
少子化，都市化，核家族化などに伴い子育て中の親の孤立化，不安や悩みが増大し，子育て中の親のつどえる場として市民からの要望をうけ平成6年度にすてっぷ21勝田台が設置された。																	
平成17年3月に次世代育成支援行動計画が策定され，同年10月に中高生の居場所フリーパレットを開設した。さらに重点施策推進のため平成18年4月に3課1センターからなる子ども部が設立された。平成18年4月に子ども支援センターすてっぷ2 1に名称変更した。平成19年4月に地域子育て支援センターとして位置付けられたことにより，10月から利用対象を妊婦と0歳から就学前までの子とその保護者に変更した。																	
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の 施策体系	5本の柱（章）		01	健康福祉都市をめざして							
利用者が年々増大、育児不安や子どもの虐待など子ども養育機能・養育環境が多種多様に変化をもたらしている。18年4月から地域子育て支援ネットワーク事業を開始、19年4月にはすてっぷ2 1が「地域子育て支援センター」に位置付けられ、利用対象も妊婦と0歳から就学前までの子とその保護者に拡大した。 平成23年4月より八千代市放課後子ども教室推進事業の校外型「すてっぷ2 1フリーパレット」が位置づけられ経常事業とし実施していく。							大項目（節）		02	社会福祉							
							中 項 目		01	児童福祉							
							小項目（施策）		03	地域子育て支援体制の充実							
							細 項 目		01	地域ぐるみ支援体制の充実							
実 施 計 画 の 計 画 事 業																	
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		平成23年4月 ～ 平成24年3月			計 画 事 業 費		千円					

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	妊婦と0歳から就学前児童及びその保護者（以前は3歳に達した日以降の最初の3月31日までの間にある乳幼児及びその保護者となっていたが，平成19年10月から対象年齢を拡大した） すてっぷ2 1フリーパレットの子ども（主な利用者は中学生・高校生）											
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： ①妊娠から出産・子育てのサポート（母子健康手帳交付、子育て応援カード発行、マタニティ広場、4・10か月児赤ちゃん広場、もうすぐ1歳半おやこ広場、保育士による家庭訪問、親学習支援事業「みんなで食育」子育てワークショップ「おしゃべり広場」「子育て応援ポケット」）、次の親になる世代への支援・親と子の遊びと交流の広場の提供・安心して子育てができるまちづくりの支援 ②中高生を対象に放課後または、水曜・土曜に気軽に集うことができる場の提供											
	※平成23年度に計画していること： ①妊娠から出産・子育てのサポート（母子健康手帳交付、子育て応援カード発行、マタニティ広場、4・10か月児赤ちゃん広場、もうすぐ1歳半おやこ広場、保育士による家庭訪問、親学習支援事業「みんなで食育」子育てワークショップ「おしゃべり広場」「子育て応援ポケット」）次の親になる世代への支援・親と子の遊びと交流の広場の提供・安心して子育てができるまちづくりの支援 ②子ども（主な利用者は中高生）の放課後または、水曜・土曜に気軽に集うことができる場の提供											
意図 （何を狙っているのか）	①安心して遊べる場の提供②孤独な子育てにならないように、仲間づくりを援助する③身近な情報や学びの機会を提供して、安心して子育てができるようにする④地域で子育てを見守れる子育て支援のネットワーク化を促進する											
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外											
区 分						単位	2 1 年度		2 2 年度		2 3 年度	
							実績		計画	実績	計画	
対象指標	指標 1	0～就学前までの子どもの保護者数				数	11, 674		11, 616	11, 616	11, 350	
	指標 2											
	指標 3											
活動指標	指標 1	開館日数				日	243		244	239	251	
	指標 2	遊びと交流の広場利用者実人数				人	4, 034		4, 034	4, 262	4, 262	
	指標 3											
成果指標	指標 1	子育て期にある親子の施設の利用率				%	34. 5		34. 5	36. 7	37. 6	
	指標 2											
	指標 3											
上位成果指標	指標 1											
	指標 2											
	指標 3											

コード	3160	事務事業名称	すてっぷ2 1 事業				所属名	子育て支援課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			子ども支援センターすてっぷ2 1 事業内容を毎年評価検証し事業報告書を作成、それに基づき活動計画を作成し実施していく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
	☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			各種事業、母子健康手帳の交付・マタニティ広場・4か月児、10か月児赤ちゃん広場・家庭訪問・親学習支援事業、食育・子育てワークショップ「おしゃべり広場」「遊びと交流の広場」子育て相談・地域の子育て支援者や団体等と地域情報交換会等の開催・町探検・職場体験・福祉体験等地域の小中高生の受け入れ等内容の充実に努めていく。すてっぷ2 1 フリーパレットの充実と開放日増の検討。大学との協働の推進。		
			削 減	不 変	増 加			
	成 果	向 上	☐	☒	☐			
		不 変	☐	☐	☐			
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
・すてっぷ21（遊びと交流のひろば）をバギーでいける範囲に設置。 ・子育て支援の地域ネットワークの促進 ・社会状況の変化（虐待の増加）や児童福祉法、虐待防止法の改正に伴い相談機能の拡充。 ボランティアの積極的な参加や土日の開所による父親同士の交流の推進などさらに地域子育て支援センターの充実。 18歳までの子どもの安心できる居場所の設置。 フリーパレットの活動内容が保護者や地域にわかるような周知方法についての検討。 子どものサポートを行うボランティアである大学生の協力。									

所属長コメント	地域子育て支援センター事業は、妊娠期からの切れ目ない支援をしていくことで、虐待の未然防止や、必要な人に必要な支援をつなげる大切な役割を担う。このためスタッフの力量アップのための研修や事業内容の充実が求められていると考える。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									